

2020 年 2 月 12 日

各 位

株式会社イマジカデジタルスケープ

Infinite Pixel Viewer 発売開始

超高精細な画像をリアルタイムに拡大して見られるインタラクティブなビューア
美術館・博物館・医療・教育利用に期待

株式会社イマジカデジタルスケープ（代表取締役社長：篠原 淳、本社：東京都渋谷区 以下：当社）は、このたび自社で開発した Infinite Pixel Viewer（読み：インフィニット ピクセル ビューア）の発売を 2 月 25 日（火）に開始いたします。

Infinite Pixel Viewer（以下、IPV）とは、当社のリアルタイムグラフィックス専門家集団である「デジタルリアリティラボ」が開発した、ギガピクセル級の超高精細な画像をインタラクティブに高速表示が可能なビューアであり、それらの画像を活かしたコンテンツ制作も可能なアプリケーションです。

■ 製品概要

品名	Infinite Pixel Viewer（読み：インフィニット ピクセル ビューア）
販売方式	ライセンス販売
販売価格	要問合せ
発売日	2020 年 2 月 25 日（火）

■ 開発の背景

コンピュータ、デジタルカメラ、スキャナの高性能化により、超高精細な画像を手軽に生成することが可能になりました。現実世界にある文化財/絵画/写真なども、いわゆるギガピクセルと呼ばれる高精細なデジタル画像化をし、デジタルアーカイブとして管理、保存することが行われています。しかし、これらの超高精細画像はファイルサイズが大きいことにより、通常は取り扱いが難しく、一般的な PC で手軽に扱うツールや環境が整っていない現状があります。

当社のデジタルリアリティラボは、「リアルタイムグラフィックスの専門家集団としてすべての人に可視化の力を提供することで新たな洞察と発想を生み出し人類の進化と社会に貢献する」というビジョンの下、Infinite Pixel Viewer（IPV）を開発し、これらの問題を解決しました。

IPV は、ギガピクセル級の超高精細画像を使ったインタラクティブなコンテンツを「みる」と「つくる」を可能にしたシステムで、見るためのビューアアプリケーションと、コンテンツを作るためのオーサリングツールが一体となった製品です。誰もが自由に手軽に、超高精細画像を扱ったコンテンツを作る為に必要な機能を盛り込みました。

IPV を利用することにより、美術館、博物館、医療、教育現場において、美術品の解説や資料の閲覧、

分析・研究活動、教材利用など、超高精細画像を利用したインタラクティブなコンテンツを自らが作成し、新しいプレゼンテーション体験を日常化することが可能になります。

■主な特徴

<みる>

超高精細画像の高速表示、移動、拡大・縮小できるビューアです。

超高精細画像は、通常的环境下では読み込んで画面に表示させるだけでも、数十秒～数分単位の長い待ち時間がかかります。IPV Viewer では、一瞬で超高精細画像を表示し、視点移動やズームもスムーズに作品を楽しむことができます。

- 多様なディスプレイに対応

通常のディスプレイから 8K の高精細ディスプレイまで対応しています。

また、縦長ディスプレイやタッチパネルにも対応、直感的にコンテンツを操作することができます。

- 多言語対応

コンテンツは、Windows でサポートされている様々な言語を表示でき、タイトルや解説文などにご利用頂けます。また、言語切り替えは、コンテンツの表示途中であっても切り替え可能です。

- 様々な用途

超高精細画像を使ったコンテンツの利用は、美術館、博物館でのデジタル展示や、学校での講義、企業でのデジタルカタログやプレゼンテーションなど、様々な場面でお使い頂けます。

<つくる>

高精細画像や解説文、見どころなど、様々な機能を利用しコンテンツ制作を行います。

- 操作が簡単

Studio でのコンテンツ制作はシンプルなメニューから行い、簡単な操作で手軽に作品を制作することが出来ます。高速表示に必要な画像処理等は、全て自動で行われ、準備作業は必要ありません。

- 動作が軽快

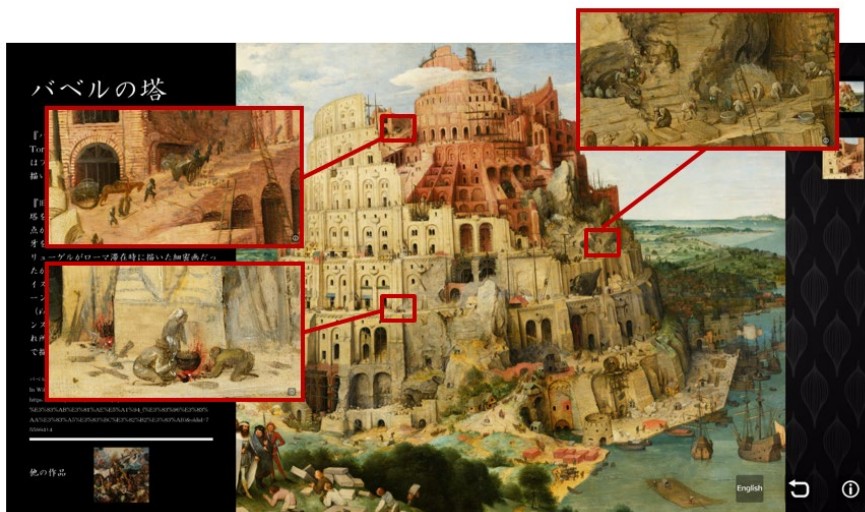
超高精細画像を扱っても待ち時間等も無く、スムーズな編集が可能です。

- 様々な機能

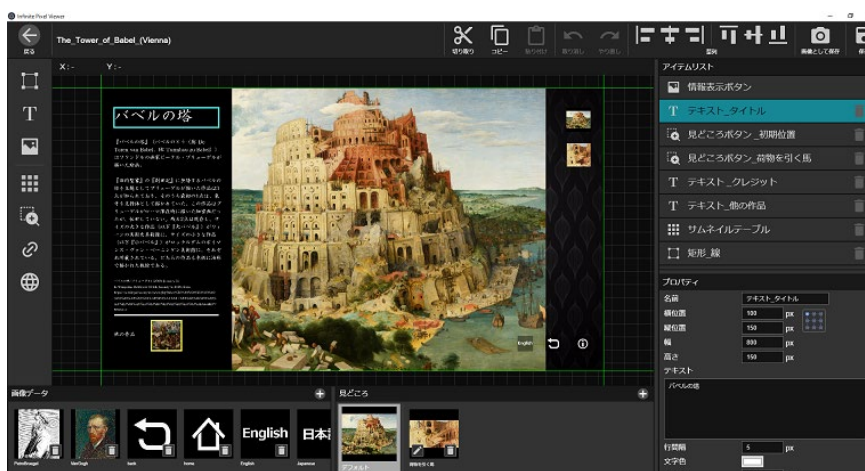
解説テロップの追加、見どころへのワンタッチズーム、多言語切り替えなどの機能によって多様な作品を作り込むことができます。

- コンテンツ制作/修正

当社は、高精細画像を使った様々なコンテンツ制作業務も請け負います。当社で制作したコンテンツも Studio で編集することが可能なため、後から作品の追加や削除など、ユーザサイドで思い通りの修正が可能です。



<みる> ズーム操作イメージ



<つくる> 編集画面操作イメージ

■ Infinite Pixel Viewer 特設 Web

<https://digirea.com/ipv/>

※2月17日リニューアル公開

最低動作環境

<プレゼンテーション環境>

OS Windows10 (Ver. 1903 以降)

<4K モニタに表示する場合>

CPU : Core i-7 4 コア 8 スレッド以上

RAM : 32GB 以上

Storage : SSD (1TB 以上推奨)

GPU : GeForce GTX 1080(8GB) 以上

<8K モニタに表示する場合>

CPU : Core i-7 6 コア 12 スレッド以上

RAM : 32GB 以上

Storage : SSD (1TB 以上推奨)

GPU: 現行の 8K モニタへの出力では、4 系統の映像出力端子がある Quadro シリーズが必要です。

VRAM はコンテンツ量に応じて必要となります。16GB 以上をおすすめします。

Quadro P4000(8GB) / P5000(16GB) / P6000(24GB)

Quadro RTX5000(16GB) / RTX6000(24GB) / RTX8000(48GB)

<制作環境>

OS : Windows10 (Ver. 1903 以降)

CPU : Core i-5 4 コア 8 スレッド以上

RAM : 16GB 以上

Storage : SSD (1TB 以上推奨)

■株式会社イマジカデジタルスケープ 事業内容

人材コンサルティング事業 (ゲーム・映像・Web 分野向け人材紹介・派遣)

メディア事業 (就活サイト、転職サイトの運営等)

デジタルコンテンツ事業 (ゲーム・アプリ・イラスト・Web 制作及びデバッグ・動作検証等)

<https://corp.dsp.co.jp/>

<IPV および製品デモに関するお問い合わせ>

株式会社イマジカデジタルスケープ デジタルリラリティラボ TEL: 03-5728-7292 e-Mail : sales@digirea.com

<ニュースリリースに関するお問い合わせ>

株式会社イマジカデジタルスケープ 広報担当: 藤吉 TEL: 03-5459-6200 e-Mail : pr@dsp.co.jp